

PROGRAM 2 1-B の生徒たち (実施時期：5月／配当時間：5時間)

GOALS：対話：自分や相手がすることを伝え合う。／対話：真央のクラスの友だちについて理解する。／発表：数を数えてたずね合う。

言語材料：一般動詞／複数形／「いつ」とたずねる文

- ① 一般動詞 I (**don't**) **draw** pictures.
- ② 複数形 Look at my **notebooks**.
- ③ 一般動詞（疑問文） **Do** you like baseball?
- ④ 「いつ」とたずねる文 **When** do you play badminton?

課の概要 真央はクラスの友だちとおしゃべりしている。そこで自分や相手の趣味などについて情報交換しながら、しだいに仲良くなっていく。

時	コーナー名	主な使用領域			各時間の目標例	評価規準例
		知・技	思・判・表	主		
1時	Scenes	Listen	聞く		登場人物や相手の好きなことやふだんすることについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> 一般動詞（肯定・否定）や複数形などの意味や働きを理解している。 <技能> 一般動詞（肯定・否定）や複数形などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や相手の好きなことやふだんすることについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
2時	Scenes	Listen	聞く		登場人物や相手の好きなことやいつするかなどについて、聞き取ったり書いたりすることができる。	【知・技】 <知識> 一般動詞（疑問）やwhen の疑問文などの意味や働きを理解している。 <技能> 一般動詞（疑問）やwhen の疑問文などの意味や働きの理解をもとに、登場人物や相手の好きなことやいつするかなどについて、聞き取ったり書いたりする技能を身に付けている。
		S&W	やり取り 書く			
3-4時	本文		聞く 読む	聞く 読む	登場人物になったつもりで質問に答えるために、登場人物の趣味についての対話文を読んで、概要や要点を捉えることができる。	【思・判・表】--【主】 登場人物になったつもりで質問に答えるために、登場人物の趣味についての対話文を読んで、概要や要点を捉えている【捉えようとしている】。
5時	Action			発表	教室の様子を相手にわかってもらえるように、数を質問したり、答えたりすることができる。	【思・判・表】--【主】 教室の様子を相手にわかってもらえるように、数を質問したり、答えたりしている【答えたりしようとしている】。